

うめのき幼稚園だより

げんきもりもり

えがおにここにこ

ひとみきらきら

7月

令和6年6月28日
北区立うめのき幼稚園

実感を伴った理解

園長 篠澤 恵理

幼稚園では、グレープフルーツ、ウメ、アンズ、ビワなどの果実や、キュウリ、ナス、ピーマン、オクラなどの夏野菜が実り、次々と収穫をしています。スイカの実ができては、しばんでしまっていたのですが、ついに1つ丸くなり始めています。子どもたちは、収穫物をじっくりと眺めたり、形の面白さに驚いたりしています。「1つだけしかできなかつたら、どう分けようか。」など、思い巡らすこともあります。朝の水やりの時間は、発見と喜びの連続です。みんなで数を数えたり、大きさや長さを比べたりすることも楽しみにしています。並べてみたり、測ってみたりして比べると、様々なことに気付きます。「多い・少ない」「長い・短い」「太い・細い」「重い・軽い」「丸い・平べったい」など、比べて気付いたり、思ったことをつぶやいたりしています。

幼稚園教育要領では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の一つとして、「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」が、明記されています。これは、数量・図形に焦点を当てた活動を特別に行ったり、知識だけを教え込んだりすることではありません。日常生活や遊びの中で、物事を数量的にとらえることの便利さや必要性を知り、数量を感覚的に捉えることを示しています。

幼稚園では、子どもたちが様々な形や大きさの積み木を組み合わせたり、数の掛け声を唱えたりすることが日常的にあり、子どもたちが自分から関心に向けていきたくなる機会と捉えて大切にしています。子どもたちが、実際に物に触れて体感することは、面白がったり不思議に思ったりする感情と共に育まれていくと考えています。知識として学ぶ前に、「実感を伴った理解」を積み重ねていくことが、小学校以降の学習にもつながっていきます。

数や形を実感していく日常的な積み重ねとしては、家事のお手伝いも量感を学ぶチャンスがたくさんあります。食事の配膳で、家族の人数分を配ること。食べ物を等分すること、形を考えながら盛り付けること、洗濯物を畳むことなど、他にもたくさんあります。この夏、お手伝いを取り入れながら、子どもたちが、物と関わる中で、様々なことを感じ取れるといいですね。

えがおにここにこコーナー



今年度の全日公開日では、地域の方々に講師としてご協力いただき、木工製作や体操を楽しみました。真剣な表情で物作りをしたり、にこやかに体操をしたりと、頭や心を豊かに動かししました。

幼稚園の畑では、夏野菜が次々と実っています。親子栽培にも取り組んでいて、毎朝の観察が楽しみです。親子で同じ物を見たり、一緒に動いたりすることが、子どもたちの心の栄養となっています。



【年長もり組 木工製作】



【年少りす組 親子体操】



【年長もり組 じゃがいも掘り】